

2019年6月16日（日）メッセージアウトライン 「天のお父様はどんなお方？」

聖書箇所：ヘブル12：5～13

タイトル：「天のお父様はどんなお方？」

テーマ：父の日に因んで、あらためて「父なる神」はどんなお方であるかを見てまいります。

「〇〇の父」と呼ばれるお方が、新約の時代ご自身を「主イエス・キリストの父」として啓示しておられます。そればかりでなく、今や、「イエス・キリストを信じる者の父」となられて、信じる者を神の子として愛するゆえに、どのようにお取扱いかださっているのかを本日の聖書箇所から教えていただきます。

1. 初めに；

* 聖書の神は三位一体の神

* 三位一体の意味するところ——「神は実体においては唯一の神でありつつ、父、子、聖霊という三つの位格において存在する」

* 永遠の存在者（このうちのどなたかが、先に存在していたということはない）

* 父なる神は一位格の神

2. 「父なる神」は聖書の中で誰の父として現れているか

①被造物の父（Iコリント8：6、ヤコブ1：17など）

「私たちに、父なる唯一の神がおられるだけで、この神からすべてのものは発し、この神に私たちは至るからです。」 Iコリ8：6

②全人類の父（使徒17：29、創世紀1：26、27など）

「天と地にあるすべての家族の〈家族〉という呼び名のもとである御父の前に祈ります。」 エペソ3：14

③イスラエルの父（出エジ4：22、イザヤ64：8など）

「主（ヤハウェ）はこう言われる。『イスラエルはわたしの子、わたしの長子である』」
出エジ4：22

ヤハウェの子と呼ばれるのはイスラエルだけ

3. 主イエス・キリストの父

①エペソ1：3、ヨハネ1：14、18、ヨハネ3：16、18など

「私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。」 エペソ1：3

* 父なる神は主イエス・キリストをご自分の子と呼んでおられる。

誤解してはいけないこと一父も子も聖霊も永遠の存在者であられ、まことの神であられ、ともに同質のいのちと特質をもっておられ、上下関係の中にはおられない。

* 神の関係を有限な私たちに理解させるために用いられている表現として受け止める。

②イエス様は父なる神を「わたしの父」と呼んでおられる

4. 信じる者すべての父

①イエス様を神の御子キリストと信じる者を、神の子と認め、子なる神に与えた特権を与えて下さった（ヨハネ1：12、ガラテヤ3：26など）

「あなたがたはみな、信仰により、キリスト・イエスにあって神の子どもです。」

②父なる神をアバ、父よとお呼びできる（キリストを信じる者に与えられた聖霊によって）

ローマ8：15b

ここからが本日の本論です。（ヘブル12：5～13）

③神の子として訓練をお与えになる、そこにある神の愛と目的

⑤私たちと肉の親との関係は？

5. 結論

①主イエス・キリストの父なる神が、主を信じる者の父であられることを私たちは本気で受けとめているだろうか

②アナバプテストの霊性について研究を進めておられるアーノルド・スナイダーという方が書いた書物「イエスの足跡に従う」—アナバプテストの伝統—の中から、一文を紹介。

私たちは、主イエス・キリストの父である神が、主イエスを信じる者の父となられたことに万感の思いを込めて、「天のお父様」とお呼びしているか。